

平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オービス

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 平成25年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	5,912	15.5	160	△11.0	119	△28.1	101	△37.9
24年10月期第2四半期	5,119	3.8	180	—	165	—	162	—

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 135百万円 (△14.9%) 24年10月期第2四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年10月期第2四半期	58.44	—
24年10月期第2四半期	94.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年10月期第2四半期	11,704	1,537	13.1	888.10
24年10月期	10,743	1,410	13.1	814.68

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 1,537百万円 24年10月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	11,359	16.6	129	12.7	38	△51.4	22	△65.2	13.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期2Q	1,732,000 株	24年10月期	1,732,000 株
25年10月期2Q	705 株	24年10月期	674 株
25年10月期2Q	1,731,303 株	24年10月期2Q	1,731,326 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済状況の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 表示方法の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年11月1日～平成25年4月30日)のわが国経済は、欧州の経済停滞や日中関係の悪化等、企業業績への懸念材料も多くみられましたが、昨年末の政権交代以降、新政権への経済政策に対する期待から株価の上昇、円安の進行による輸出環境の改善や米国経済の緩やかな回復基調も加わり、将来的な景況感の改善がみられました。

木材事業におきましては、為替相場の急激な円安進行に加え、原材料であるニュージーランド松の価格が中国需要の拡大を背景に再び上昇し、原材料コストが大幅に上昇する一方で、為替相場の影響を受けない国産杉材等が短納期及び安価にて梱包市場のシェアを拡大したことにより、梱包用材の受注環境は急激に悪化いたしました。

このような環境のもと、姫路工場内にセンターカット機(高精度切断機)を導入し、更なる製品品質の向上を図り、ドラム用材・カット材・熱処理材の拡販に努めてまいりました。また、大幅かつ急激な原材料コストの上昇に対しては販売価格への転嫁を推し進め、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は32億47百万円(前年同四半期比99.9%)、営業損失は25百万円(前年同四半期は営業利益73百万円)となりました。

ハウス・エコ事業のハウス部門におきましては、震災の復興関連工事に伴う公共投資の増加や消費税の増税を控えた住宅投資の増加が期待されていますが、資材価格・労務費等の上昇に加え、受注競争は一段と厳しさを増す等、建設業界を取巻く環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、従来からの収益改善策である利益率重視の選別受注による採算改善と工事原価の低減を一層強化することで、利益率の向上に努めてまいりました。

エコ部門におきましては、再生可能エネルギーの全量買取制度によって急激に市場が拡大した一方で、新規施工業者の参入により、販売価格の低価格化が進む等、受注競争が一段と激化してまいりました。

このような環境のもと、遊休地を活用した太陽光発電システムの需要開拓に努めると共に、全国規模での販売・施工管理を確立することで当第2四半期には全国でメガソーラーを含む多数の大型物件が完工し、施工実績の積み上げを図ることができました。また、工種毎の原価管理の徹底を図ると共に、架台製作やパネル設置の内製化を推し進めることで利益率の向上に努めてまいりました。

その結果、売上高は22億16百万円(前年同四半期比155.2%)、営業利益は2億35百万円(前年同四半期比135.2%)となりました。

アミューズメント事業におきましては、レジャーの多様化による需要の分散と厳しい雇用環境や所得低迷の長期化により、お客様の消費意欲が減退し、同業他社間での低価格競争が激化する等、厳しい市場環境が続いております。

このような環境のもと、カラオケ部門におきましては、飲食メニューの内容を充実させると共に、お子様向けのキャラクター衣装の貸出しサービスを開始する等、集客力の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

ゴルフ場部門におきましては、コースメンテナンスに注力すると共に、優待券の発行や冬季料金の設定を行い、集客力の向上を図り、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は3億75百万円(前年同四半期比99.4%)、営業利益は12百万円(前年同四半期比273.3%)となりました。

不動産事業の賃貸物件におきましては、不動産情報誌への継続的な広告を行うことにより、安定した稼働率を確保し、収益の向上に努めてまいりました。

なお、売買の引渡物件は2件でありました。

その結果、売上高は72百万円(前年同四半期比112.0%)、営業利益は32百万円(前年同四半期比139.4%)となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は59億12百万円(前年同四半期比115.5%)、営業利益は1億60百万円(前年同四半期比89.0%)、経常利益は1億19百万円(前年同四半期比71.9%)、四半期純利益は1億1百万円(前年同四半期比62.1%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して9億61百万円増加し117億4百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金等が8億13百万円、原材料及び貯蔵品が1億40百万円それぞれ増加し、機械装置及び運搬具が1億34百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して8億34百万円増加し101億67百万円となりました。その主な要因は短期借入金が10億20百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億65百万円それぞれ増加し、長期借入金が4億46百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1億27百万円増加し15億37百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が92百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、平成24年12月12日の「平成24年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました平成25年10月期通期の業績予想を本日修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年11月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	645,415	705,450
受取手形及び売掛金等	2,513,856	3,327,138
リース未収入金	573,903	518,360
商品及び製品	224,051	277,137
販売用不動産	370,119	338,907
仕掛品	208,187	176,808
原材料及び貯蔵品	404,274	544,294
その他	491,627	619,807
貸倒引当金	△8,870	△14,315
流動資産合計	5,422,565	6,493,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,303,472	1,266,141
機械装置及び運搬具(純額)	1,367,044	1,232,367
土地	2,068,088	2,068,088
その他(純額)	230,636	240,826
有形固定資産合計	4,969,242	4,807,424
無形固定資産	48,790	45,049
投資その他の資産		
投資有価証券	99,088	152,715
その他	206,927	211,138
貸倒引当金	△3,478	△5,254
投資その他の資産合計	302,537	358,599
固定資産合計	5,320,570	5,211,073
資産合計	10,743,136	11,704,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金等	593,182	719,097
短期借入金	1,800,000	2,820,000
1年内返済予定の長期借入金	1,034,332	1,199,760
未払法人税等	17,878	23,059
賞与引当金	4,900	49,425
完成工事補償引当金	3,607	3,565
その他	915,971	773,373
流動負債合計	4,369,873	5,588,281
固定負債		
長期借入金	4,305,952	3,859,058
退職給付引当金	132,205	130,838
役員退職慰労引当金	93,667	98,024
船舶修繕引当金	6,384	25,538
資産除去債務	143,133	144,403
その他	281,445	320,959
固定負債合計	4,962,788	4,578,821
負債合計	9,332,662	10,167,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	219,567	312,092
自己株式	△674	△689
株主資本合計	1,416,852	1,509,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,323	29,182
繰延ヘッジ損益	△54	△985
その他の包括利益累計額合計	△6,378	28,196
純資産合計	1,410,474	1,537,559
負債純資産合計	10,743,136	11,704,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	5,119,993	5,912,135
売上原価	4,252,005	5,060,795
売上総利益	867,987	851,339
販売費及び一般管理費	687,471	690,735
営業利益	180,515	160,603
営業外収益		
受取利息	48	38
受取配当金	640	689
仕入割引	616	838
補助金収入	40,890	—
受取販売奨励金	831	6,117
その他	11,749	13,961
営業外収益合計	54,777	21,645
営業外費用		
支払利息	57,405	48,185
その他	11,996	14,808
営業外費用合計	69,401	62,993
経常利益	165,892	119,255
税金等調整前四半期純利益	165,892	119,255
法人税、住民税及び事業税	8,310	18,240
法人税等調整額	△5,375	△168
法人税等合計	2,934	18,072
少数株主損益調整前四半期純利益	162,957	101,182
四半期純利益	162,957	101,182

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	162,957	101,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	35,505
繰延ヘッジ損益	△3,356	△931
その他の包括利益合計	△3,346	34,574
四半期包括利益	159,611	135,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,611	135,756
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	165,892	119,255
減価償却費	277,795	237,534
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,138	7,221
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,161	44,525
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△228	△42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,780	△1,366
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,024	4,357
船舶修繕引当金の増減額(△は減少)	17,995	19,153
受取利息及び受取配当金	△688	△727
支払利息	57,405	48,185
売上債権の増減額(△は増加)	△385,084	△757,739
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,223	△130,514
仕入債務の増減額(△は減少)	△142,958	125,914
その他	67,776	△271,990
小計	88,785	△556,233
利息及び配当金の受取額	227	232
利息の支払額	△57,152	△49,007
法人税等の支払額	△19,974	△13,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,886	△618,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,480	△1,680
定期預金の預入による支出	△12,000	—
有形固定資産の取得による支出	△39,725	△35,276
有形固定資産の売却による収入	792	623
貸付金の回収による収入	200	300
無形固定資産の取得による支出	△1,689	△743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,902	△36,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	1,020,000
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△808,028	△581,466
自己株式の取得による支出	—	△15
リース債務の返済による支出	△9,159	△14,996
配当金の支払額	△60	△8,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△367,247	715,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	244
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△409,255	60,035
現金及び現金同等物の期首残高	840,033	555,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	430,777	615,450

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報等】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	3,249,355	1,428,131	378,047	64,457	5,119,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	159	—	159
計	3,249,355	1,428,131	378,207	64,457	5,120,153
セグメント利益	73,634	174,191	4,723	23,378	275,928

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,928
セグメント間取引消去	6,914
全社費用(注)	△102,326
四半期連結損益計算書の営業利益	180,515

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	アミューズ メント事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	3,247,012	2,216,976	375,978	72,168	5,912,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,247,012	2,216,976	375,978	72,168	5,912,135
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△25,359	235,470	12,912	32,585	255,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	255,609
セグメント間取引消去	7,571
全社費用(注)	△102,577
四半期連結損益計算書の営業利益	160,603

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。